

町史編さん室だより

公共交通

今は、コミュニティバスが運行され、通勤・通学や買い物などに広く利用されています。では、コミュニティバスが走る前はどうかだったのでしょうか。今回は、名鉄バスが2路線あったことをご紹介します。

通称「浄心線」

この路線の歴史は古く、昭和8年には名古屋市西区浄心から大口村小口までバスが走っていました。その後、小口から扶桑の小淵まで路線が伸び、『扶桑町史』には一日八往復していたが、昭和41年8月には一日二往復になり、5年後には小口〜小淵間が廃止されたと記載されています。名古屋から小口までの路線が廃止された時期は定かではありませんが、名古屋まで行く貴重な公共交通として長く活躍していたことが分かります。

通称「羽黒線」(江南駅〜羽黒駅)

昭和32年2月15日から開設されたようです。前年に村制50周年を記念して刊行された『50年のあゆみ』の中で「来年1月に新線が作られそうな情勢となってきた」と

あり、「古知野駅―力長―大屋敷本郷―同新田―役場―下小口―中小口―上小口―民成紡―河北―羽黒駅」と経路が紹介されています。

昭和42年刊行の町勢要覧には、「東一宮〜羽黒間 七往復」、昭和47年刊行の町勢要覧には、「古知野〜明治村口、八往復」とあります。さらに、昭和59年には江南〜大口役場を一日十三往復、明治村口までを一日三往復とし、江南駅への利便を重視したダイヤ改正したことが、広報おおぐちにも記載されています。その後、江南駅〜大口役場のみとなり、平成3年10月21日にバス路線は廃止されました。



町史編さん講座の休止について
平成30年度から、奇数月に開催してきました町史編さん講座は、諸般の事情により休止いたします。

問合せ先

町史編さん室 ☎95-3464



ウィル大口NEWS

VOL.7



[こちらよりホームページをご覧くださいませ↑](#)

ベビースイミング開催決定！

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度のベビースイミングの開催を見送っておりましたが、クラブ内で感染防止対策をとり、7月6日(月)から開催することになりました！！

ベビースイミングとは…

赤ちゃんと保護者が一緒にプールに入り、水中で簡単な運動をおこなうことをいい、本格的に泳ぐものではありません。コーチの指示に従って、プールの中で保護者の方に抱っこしてもらいながら、浮かぶ、ジャンプする、潜るなどさまざまな運動をおこないます。赤ちゃんが泳ぎ方を身につけることより、プールや水に触れて慣れることを目的としているので、おもちゃを使用したり、楽しい遊びを取り入れています。楽しく水に慣れ親しみましょう♪

日時 毎週月曜日・金曜日 午前11時から正午 **定員** 各曜日15組

受講料 6,000円/1期5回分(税込) ※その他、教室日程や申し込み方法等の詳細はホームページをご覧ください。

教室一覧

多種目スポーツ/水泳/サッカー/幼児体操/園児体操/小学生体育/チアダンス/硬式テニス/ソフトテニス/バレーボール/フィールドホッケー/ミニバス/生き生き土曜学級/のびのび健康体操/健康麻雀/うたごえ喫茶/プログラミング

NPO法人ウィル大口スポーツクラブ事務局 大口町温水プール2階 午前10時から午後6時(月曜・火曜休業日) ☎95-1313